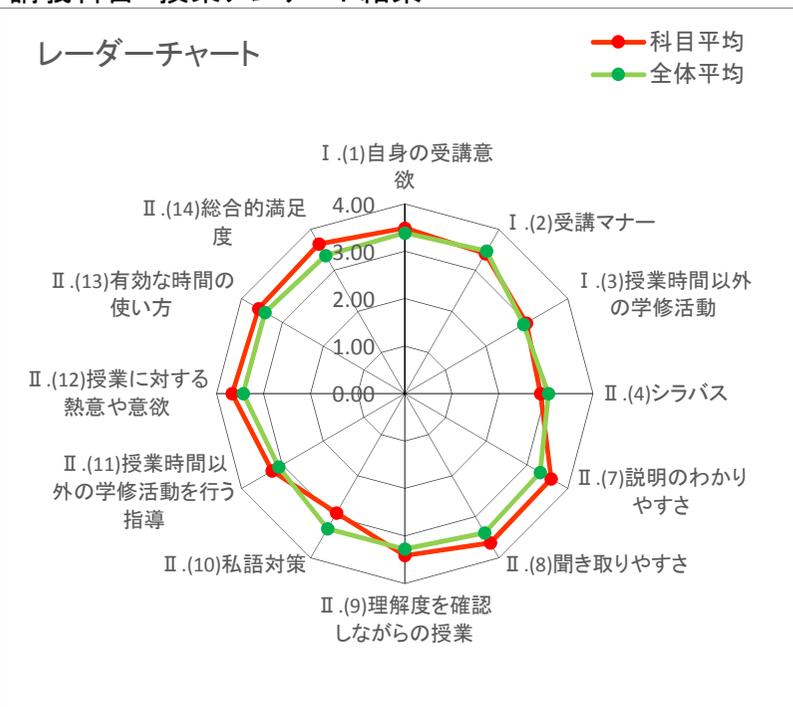
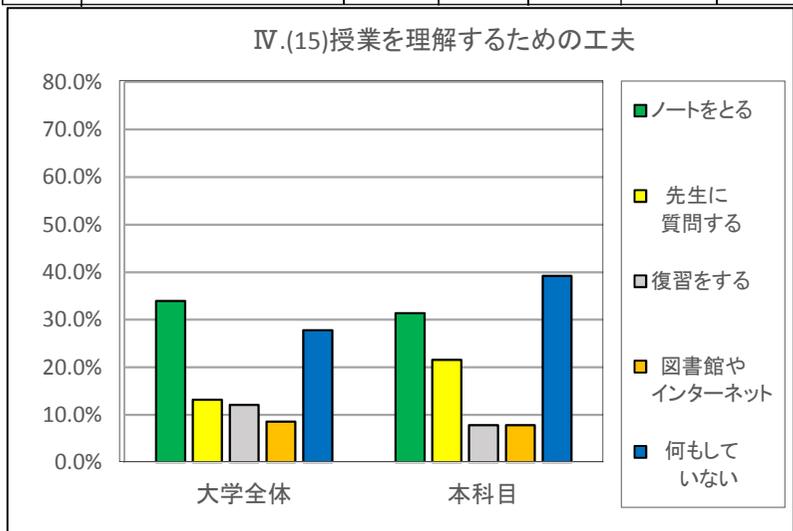


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	31.4%	21.6%	7.8%	7.8%	39.2%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度 後期
時間割番号	21109
科目名	生活の理解
教員名	

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.49	3.39
	I.(2)	3.41	3.47
	I.(3)	2.98	2.91
受講内容・方法	II.(4)	2.88	3.05
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.59	3.32
	II.(8)	3.63	3.39
	II.(9)	3.41	3.27
	II.(10)	2.90	3.28
	II.(11)	3.25	3.09
	II.(12)	3.67	3.43
	II.(13)	3.59	3.43
満足度	II.(14)	3.65	3.36

①授業計画の達成度について
 授業計画では、①「遊びから学びへ」と②「学校生活への理解」の2つのユニットに分けて実施した。①「遊びから学びへ」のユニットでは、学生の活動実態に合わせて、1コマ分多く実施するなど、当初計画から修正を行った。学生の成果物から、体験から学び得る知についての理解は深まったと思われる。

②授業の進め方について
 ①「遊びから学びへ」では、実際に小学校生活科にて取り扱う学習材をもとに、体験学習を数多く取り入れた。②「学校生活への理解」では、パワーポイントや映像を用いて具体物を提示や、学生からの全ての質問に対し徹底的に答える姿勢を見せるなど、学生の学習意欲を高めるにはどうすればよいかを考え、講義を行った。そうしたことから、(7)、(8)、(9)、(12)、(13)のアンケート項目において、高評価の結果となったと思われる。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.29	3.26
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.37	3.28
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.65	3.36
III.(14)		

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 学生アンケートからは、「前の授業でた疑問の答えをしっかりと教えてくれるところ」「実際にモノを作ったり、主体的に学びに参加することができた点」「自分が体験することによって、わかることがある」「みんなの意見が言える場であった」「前回の復習を取り入れて、学生の理解度を確認しながら授業をすすめていたこと」「この授業は身に付くことばかりで、とても楽しかった」「私達の意欲を高めるための授業の工夫がされていると感じる」との回答があった。今後も理論と実践を結びつける授業実践を行いたい。